

住んでよかった、住み続けたいまちをめざして

あなたも播磨ゆめづくり塾で活動しませんか

平成十四年度
五つの塾で
塾生を募集

まちづくりの研究活動を行う「播磨ゆめづくり塾」。このほど、五人の塾長と塾名が決まり、一緒に楽しみながら活動してくれる仲間を募集します。

申し込み期限 7月12日(金)

申し込み・問い合わせ 播磨ゆめづくり塾事務局(企画調整課) 0794(35)0356

希望の塾名、あなたの住所、氏名、電話番号をお知らせください。

*平成13年度の塾活動報告書が各コミセン・企画調整課にありますので、参考にしてください。

あいであ未来塾

塾長 楠瀬 達雄

「あいであ未来塾」は、身近な題材をテーマとして皆様の「ひらめき」を「特許化」「実用化」することを目指します。

しかし、「ひらめき」が一足飛びに「特許化」「実用化」されるほど世の中は甘くありません。

その「ひらめき」を毎月みんなで集まってワイワイ、ガヤガヤ議論あって、最終的には簡単に文書化して「著作権」つまり「知的所有権」として権利を取得し、数多くのアイデアコンクールに出展してみませんか。その後は、運があるかないかで

募集人員・条件など

人数、年齢、性別は問いません。世の中の「モノ」に不満、不便を感じているあなたこそ「あいであの泉」の持ち主です。どしどし参加してください。

キャストはりま塾

塾長 福原 隆泰

まちづくり委員会から、夢づくり塾として新たに出発し、町の施策の学習や、先進事例を調査します。そして、住民が主役のまちづくりの仕組みを考え、ワークショップを通じて広く住民の方たちに紹介していきます。

また、花を題材にして町に彩りを添える活動との2つを柱にして、まちづくりを盛上げていきたいと考えています。

募集人員・条件など

老若男女を問いません。「できる人が、できることを、できるときにやる」をモットーに、どなたにでも関わっていただければと、お待ちしております。

ふれあいってなあに塾

塾長 下垣 俊子

「ふれあい(コミュニティづくり)」ってよく言われています。けれども、あなたと私はどのようにふれあっているのでしょうか？

家族とのふれあい、世代間のふれあい、外国人とのふれあい、そして住民同士のふれあい。

今、いろいろなところで、どんな「ふれあい」がされているのでしょうか？ いろいろなふれあいを見て、作って、参加して「ふれあい」って何かを学んでみようではありませんか？ そして「ふれあい」の中から【まちづくり】に役立つかもしれないと思うような、ふれあい活動をしましょう。

募集人員、条件など

どなたでも結構です。一緒に楽しく、ふれあいについて考えてみましょう。気軽にご参加ください。お待ちしております。

ベストパートナー塾

塾長 前田 一男

ジェンダー・セクハラ・D.V.(ドメスティック・バイオレンス)等、これらの言葉を聞かれたことがありますか？

現在、男女共同参画社会が進む中、播磨町民一人一人が、意識を持って行動することが必要となります。当塾は、平成13年度播磨町男女共同参画行動計画策定委員会の有志のメンバーを中心に、継続的な勉強会として立ち上げました。

「手に手をとって考えよう 男女がともに息づくまち播磨町」を合言葉に、難しいテーマをわかりやすく・楽しく・そして熱く・語りあいたい。

意識が変わり心が豊かになれば、播磨町をより愛することができ、まちづくり・まちおこしになると思われます。小さな播磨町から、大きく発信しましょう。

募集人員、条件など

女男問いません。どなたでも気軽に参加してください。

わくわく人権塾

塾長 大路 みどり

「人権塾」は、わくわく心ときめく「人間塾」でもありたいと思います。私たちの目線で見えてくること、気づいたことを研修し、それを少しずつでも周りの人たちに伝え伝えていきませんか？

また、他の塾、グループとの交流も実行したいと思っています。わいわい話しながら、「何ができるか！」を考え、前進していける集まりになればと思っています。

募集人員、条件など

人数、年齢、性別は問いません。どなたでも気軽にどうぞ。

平成十三年度
塾活動の報告

あいであ塾

塾長 長尾 禎則さん

身近な題材であるネーミング、デザイン、ポスター、標語、作曲、歌詞などのテーマについて、思いつきやひらめき、アイデアを「知的所有権」として登録しました。

- ・考えることの楽しさ
- ・アイデアに理屈はいらない具
- ・体性のみ
- ・「モノ」より「アイデア」と提言されています。

ふれあいってなあに塾

塾長 下垣 俊子さん

「ふれあい」という言葉がよく使われていますが、まちづくりの「ふれあい」とは何なのかをテーマに考え

- ・ふれあいの場の提供
- ・若者世代との交流の機会づくり
- ・ふれあい情報誌の発行
- ・ふれあい事業補助金制度の創設

などを提言されています。

夢紡塾

塾長 脇 清さん

陶板彫刻画を制作し、作品を町の施設等に設置して、文化の香るまちづくりを行いました。

作品は

- ・播磨ふれあいの家
- ・中央公民館横通路壁

に設置されています。

作品の設置場所を検討するため、町中を見つめ直されました。これからは、培った制作技術や陶板彫刻の楽しさを、小中学生や高校生に伝える活動を行う新たな取り組みへと進まれています。

わくわく人権塾

塾長 佐伯 映子さん

だれもが住みやすいまちづくりを目的に、人権にかかわる情報収集・発信とネットワークづくり活動をされました。

- ・人権啓発「カベ新聞」、不登校問題をとり上げた映画会の開催などに取り組まれました。
- ・人権に関する資料、情報提供、展示できるコーナーの設置
- ・人権に関する企画実行委員会の組織づくり

を提言されています。